

## ●薬価基準収載医薬品（2022.11.16）－報告品目・新キット製品－【確定版】

## 【9成分13品目】

## 内用薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
11/16	抗ウイルス化学療法剤	マヴィレット配合顆粒小児用	1包	20,313.90	製造販売元／アヅヴィ合同	グレカプレビル水和物 ビプレントスビル	C型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善	<p><b>〈セログループ1（ジェノタイプ1）又はセログループ2（ジェノタイプ2）のC型慢性肝炎の場合〉</b> 通常、3歳以上12歳未満かつ体重45kg未満の小児には、グレカプレビル及びビプレントスビルとして下記の体重別の用量を1回量とし、1日1回、食後又は食事とともに経口投与する。投与期間は8週間とする。なお、C型慢性肝炎に対する前治療歴に応じて投与期間は12週間とすることができる。</p> <p>12kg以上20kg未満：3包（グレカプレビルとして150mg及びビプレントスビルとして60mg） 20kg以上30kg未満：4包（グレカプレビルとして200mg及びビプレントスビルとして80mg） 30kg以上45kg未満：5包（グレカプレビルとして250mg及びビプレントスビルとして100mg）</p> <p><b>〈セログループ1（ジェノタイプ1）又はセログループ2（ジェノタイプ2）のC型代償性肝硬変の場合〉</b> <b>〈セログループ1（ジェノタイプ1）又はセログループ2（ジェノタイプ2）のいずれにも該当しないC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変の場合〉</b> 通常、3歳以上12歳未満かつ体重45kg未満の小児には、グレカプレビル及びビプレントスビルとして下記の体重別の用量を1回量とし、1日1回、食後又は食事とともに経口投与する。投与期間は12週間とする。</p> <p>12kg以上20kg未満：3包（グレカプレビルとして150mg及びビプレントスビルとして60mg） 20kg以上30kg未満：4包（グレカプレビルとして200mg及びビプレントスビルとして80mg） 30kg以上45kg未満：5包（グレカプレビルとして250mg及びビプレントスビルとして100mg）</p>	既存の『マヴィレット配合錠』に小児用の剤形追加。
11/16	光線力学診断用剤	アラグリオ内用剤 1.5g	1.5g 1瓶	75,985.90	製造販売元／SBIファーマ 販売元／日本化薬	アミノプリン酸塩酸塩	経尿道的膀胱腫瘍切除術時における筋層非浸潤性膀胱癌の可視化	通常、成人には、アミノプリン酸塩酸塩として20mg/kgを、膀胱鏡挿入3時間前（範囲：2～4時間前）に、水に溶解して経口投与する。	既存の『アラグリオ顆粒剤 分包1.5g』に新剤形追加。

## 注射薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
11/16	ヒト化抗CGRPモノクローナル抗体製剤	アジビ皮下注 225mgオートインジェクター	225mg 1.5mL 1キット	41,167	製造販売元／大塚製薬 提携／Teva Pharmaceutical Industries Ltd.	フレマネズマブ（遺伝子組換え）	片頭痛発作の発症抑制	通常、成人にはフレマネズマブ（遺伝子組換え）として4週間に1回225mgを皮下投与する、又は12週間に1回675mgを皮下投与する。	既存の『アジビ皮下注 225mgシリンジ』（プレフィルドシリンジ製剤）に1回使い切り用のオートインジェクター製剤追加。

収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
11/16	ヒト化抗IL-5モノクローナル抗体	小児用ヌーカラ皮下注40mgシリンジ	40mg 0.4mL 1筒	68,964	製造販売元/グラクソ・スミスクライン	メボリズマブ (遺伝子組換え)	気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)	〈気管支喘息〉 通常、6歳以上12歳未満の小児にはメボリズマブ(遺伝子組換え)として1回40mgを4週間ごとに皮下に注射する。	既存の『ヌーカラ皮下注100mgペン』『ヌーカラ皮下注100mgシリンジ』に小児用製剤追加。
11/16	ヒト型抗ヒトIL-17Aモノクローナル抗体製剤	コセンティクス皮下注300mgペン	300mg 2mL 1キット	138,249	製造販売(輸入)/ノバルティスファーマ販売/マルホ	セクキヌマブ (遺伝子組換え)	既存治療で効果不十分な下記疾患 尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬	〈尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬〉 通常、成人にはセクキヌマブ(遺伝子組換え)として、1回300mgを、初回、1過後、2週後、3週後、4週後に皮下投与し、以降、4週間の間隔で皮下投与する。また、体重により、1回150mgを投与することができる。 通常、6歳以上の小児にはセクキヌマブ(遺伝子組換え)として、体重50kg未満の患者には1回75mgを、体重50kg以上の患者には1回150mgを、初回、1過後、2週後、3週後、4週後に皮下投与し、以降、4週間の間隔で皮下投与する。なお、体重50kg以上の患者では、状態に応じて1回300mgを投与することができる。	『コセンティクス皮下注150mgペン』『コセンティクス皮下注75mgシリンジ』に新剤形追加。
11/16	持続型G-CSF製剤	ジーラスタ皮下注3.6mgボディーポット	3.6mg 0.36mL 1キット	114,185	製造販売元/協和キリン	ベグフィルグラスチム(遺伝子組換え)	がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制	通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ベグフィルグラスチム(遺伝子組換え)として、3.6mgを化学療法1サイクルあたり1回皮下投与する。	既存の『ジーラスタ皮下注3.6mg』に新剤形追加。 タイマーを備えた体表貼付型の医薬品投与デバイス。
11/16	抗リウマチ剤	メトジクト皮下注7.5mgシリンジ 0.15mL	7.5mg 0.15mL 1筒	1,797	製造販売元/日本メダック販売元/エーザイ	メトトレキサート	関節リウマチ	通常、成人にはメトトレキサートとして7.5mgを週に1回皮下注射する。なお、患者の状態、忍容性等に応じて適宜増量できるが、15mgを超えないこと。	既存の経口剤(錠剤・カプセル剤)に新剤形追加。 国内初の週1回皮下投与メトトレキサート製剤。
	メトジクト皮下注10mgシリンジ 0.20mL	10mg 0.2mL 1筒	2,189						
	メトジクト皮下注12.5mgシリンジ 0.25mL	12.5mg 0.25mL 1筒	2,551						
	メトジクト皮下注15mgシリンジ 0.30mL	15mg 0.30mL 1筒	2,890						

収載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
11/16	抗悪性腫瘍剤 抗VEGFヒト化モノクローナル抗体	ベバシズマブBS点滴静注100mg「CTNK」	100mg 4mL 1瓶	14,286	製造販売元／日本化薬 提携先／セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン	ベバシズマブ（遺伝子組換え）[ベバシズマブ後続4]	○治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 ○扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ○手術不能又は再発乳癌	〈治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）[ベバシズマブ後続4]として1回5mg/kg（体重）又は10mg/kg（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は2週間以上とする。 〈扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）[ベバシズマブ後続4]として1回7.5mg/kg（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は3週間以上とする。 〈扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）[ベバシズマブ後続4]として1回15mg/kg（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は3週間以上とする。 〈手術不能又は再発乳癌〉 パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）[ベバシズマブ後続4]として1回10mg/kg（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は2週間以上とする。	『アバスチン点滴静注用100mg/4mL』 『アバスチン点滴静注用400mg/16mL』（中外製薬）のバイオシマラー（バイオ後続品）。
	ベバシズマブBS点滴静注400mg「CTNK」	400mg 16mL 1瓶	54,403						
VEGF : Vascular Endothelial Growth Factor（血管内皮増殖因子）									

## 外用薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
11/16	ドライアイ治療剤 （水分分泌促進/ムチン分泌・産生促進/涙液中脂質増加点眼剤）	ジクアスLX点眼液3%	3% 5mL 1瓶	1,060.00	製造販売元／参天製薬	ジクアホルソナトリウム	ドライアイ	通常、1回1滴、1日3回点眼する。	既存の『ジクアス点眼液3%』に新剤形追加。